

山梨県

健康管理事業団

だより

平成25年 新年号

今月号の主な内容

- ・平成24年活動報告
- ・山梨県がん患者サポートセンター開設
- ・ファイブロスキャンについて
- ・レディース健診のお知らせ

発行：財団法人山梨県健康管理事業団
〒400-0034 甲府市宝1丁目4-16
TEL：055-225-2800 FAX：055-225-2809
ホームページ <http://www.y-kenkou.or.jp>

がん征圧月間・結核予防週間他 活動報告

◎がん征圧街頭キャンペーン [平成24年8月25日(土)10:30~11:30]

従来甲府市内で行っていた「街頭キャンペーン」を、今年度は県・市のご協力を頂き、富士北麓地域(オギノ都留店)でも行い、がん征圧月間のチラシとドリップコーヒーを配布し、マンモグラフィ検査も実施しました。

◎がん征圧街頭キャンペーン [平成24年9月4日(火)7:20~8:30]

9月のがん征圧月間に合わせ、県・関係機関の協力のもと、甲府駅周辺でチラシとドリップコーヒーを配布し、がん検診の必要性・重要性を広く呼びかけました。

◎結核予防週間街頭キャンペーン [平成24年9月25日(火)7:20~8:30]

9月24日~30日の結核予防週間に伴い、甲府駅南口エスカレーター下で、結核に対する正しい知識をもって頂けるようチラシ以外にも結核予防週間のカットバンとクリアファイルを配布しました。



◎いきいき山梨ねんりんピック2012 [平成24年9月29日(日)9:30~15:00]

毎年小瀬スポーツ公園に幅広い世代が集まって行われているイベントに参加し、結核や生活習慣病に関するパネルの展示、啓発冊子、がん征圧月間のチラシ、ドリップコーヒー、カットバン、事業団ティッシュ、花の種等を配布し、受診率向上に向け普及活動を行いました。

◎第27回県民の日記念行事 [平成24年11月10日(土)~11日(日)10:00~16:00]

今年も小瀬スポーツ公園で開催された記念行事に参加し、医師による「がん相談・健康相談」、簡易健康チェック、チラシ、ドリップコーヒーと事業団ティッシュの配布、乳がんの視触診モデルを使用しての体験・自己検診の勧めや乳がん無料クーポンを配布して、乳がんの早期発見・治療の大切さを呼びかけました。



山梨県がん患者サポートセンターを開設しました

昭和56年以降がんはわが国の死因第一位となり、現在では二人に一人ががんに罹るといわれています。がんによる死亡の減少と、患者・家族の生活の質の向上を目指した取り組みとして、平成19年6月にがん対策推進基本計画が策定され、平成24年4月には山梨県がん対策推進条例が施行されました。

このたび日本対がん協会山梨県支部である当山梨県健康管理事業団では、山梨県の委託事業として「山梨県がん患者サポートセンター」を開設いたしました。全国では6番目の開設となります。がんに対する不安や悩みの軽減と適切な情報提供を目的として、医師・保健師・看護師等の専門家とがんの辛さや悩みを同じ立場から支えるピアサポーター（がん経験者やその家族）による相談事業を開始いたしました。

7月11日に多数のご来賓や関係各位のご出席を賜る中、サポートセンター開所式を執り行いました。今後はサポートセンターの存在や利用方法が広く周知され、患者様やご家族の皆様の悩みが少しでも軽減され、前向きな気持ちで療養生活を過ごされるためのお手伝いができると思います。



薬袋健理事長らにより、サポートセンターの看板が設置されました。



ご来賓やマスコミの皆様にも、サポートセンター内部を披露いたしました。

がん患者サポートセンターのご案内

医師による相談（面接相談）

- ◎ 完全予約制のため、あらかじめ電話で日時をご相談させていただきます。
- ◎ 病気や治療に関する相談・質問に、専門の医師が対応いたします。
- ◎ セカンドオピニオンに準ずる事項や、病院の紹介などについては対応いたしかねます。

保健師・看護師による相談 毎週火曜日13:00～17:00（祝・祭日は除く）

- ◎ 面接相談：予約制
- ◎ 電話相談：予約不要です。上記相談時間内にお電話ください。
- ◎ 病気に関すること、看護・介護に関すること、療養全般に関することに対応いたします。

ピアサポーターによる相談 毎週火曜日13:00～16:00（祝・祭日は除く）

- がんの経験者が、同じ経験を持つ者の立場から、がん患者さんご家族の悩みに寄り添い病に向き合いながらも、療養生活や社会生活を自分らしく過ごせるためのお手伝いをいたします。
- ◎ 面接相談・電話相談ともに予約不要ですが、時間のご指定がある場合にはご予約ください。

 **055(225)2800**

- ◆ 相談は無料です。
- ◆ 相談者の秘密は厳守いたします。

山梨県がん患者サポートセンター相談件数

	医師		保健師		ピアサポーター		合計	
	面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話
H24年7月	2	0	0	8	4	4	7	12
H24年8月	0	0	0	5	2	4	2	9
H24年9月	1	0	0	8	2	6	2	14
H24年10月	0	0	0	3	0	3	0	6
H24年11月	1	1	1	5	3	2	6	7
合計	4	1	1	29	11	19	17	48



相談者の傾向としては、ご家族よりはがんの患者様ご本人からのご相談をいただくことが多いです。相談内容としては、治療や主治医との関係といった医療的な事柄から、精神的不安、経済的な問題や家庭の人間関係など、幅広い内容でのご相談をいただいております。

1度きりの相談で終わられる方もおりますが、何割かの方は複数回にわたってご利用をいただいております。

肝臓の硬さを測りましょう

ファイブロスキャン(FibroScan)とは、肝臓の硬さを非襲撃的、無痛で測定できる機械です。また肝臓組織内に超音波信号を発射し信号の減退を測定し、肝臓組織内に沈着した脂肪量(db/m)を測るCAPを掲載しているので、同時に測定することができます。

山梨県における、がん検診受診者数は、胃がん約50,000人(発見がんは60人)、大腸がん約67,000人(発見がんは80人)、肝がん約77,000人(発見がんは60人)、肺がん約100,000人(発見がんは50人)、乳がん約35,000人(発見がん50人)でした。死亡者数は胃334人、大腸284人、肝323人、肺377人、乳房67人となっていて、肺がん・胃がんに次いで肝がんの死亡者数は多い結果になっています。

肝がんの原因としては、C型肝炎ウイルスが80%、B型肝炎ウイルスが5%と、95%が肝炎ウイルスに感染することにより発病します。

山梨県では、県民90万人に対し年間約300人が肝がんを発症し、うち65歳以上がもっとも多く、全国平均1.5倍と高い発症率となっています。

肝がんになりやすいのは肝炎ウイルスによる炎症で、コラーゲン繊維の沈着により繊維化進むことにより肝臓が硬く変わり(肝硬変)、硬くなると肝がんになりやすくなります。

肝臓の硬さを調べることにより、F1からF5繊維化グレードとしF4のように硬い数値になると、100人中70人(約70%)が10年後には肝がんを発症します。

肝臓の繊維化を調べるものとしては、肝生検(肝臓に針を刺し、肝臓の組織を取り出す)があります。しかしこれは患者さんに苦痛を与え、検査に時間と費用がかかり負担も要します。ファイブロスキャンは、受診者に苦痛を与えないことと、数分で測定し数値(キロパスカル)で表示しているため、肝臓の硬さを速やかに判断することができます。またオプションとして、肝臓組織内の脂肪量(CAP)を測定し、生活習慣病である保健指導の参考値としても活用することができます。

がん検診ではいくつかの検査方法がありますが、山梨県はがん対策条例に基づき医療機関や健診機関にファイブロスキャンの導入を支援しています。健康管理事業団でも、今後購入の予定です。



事業団からのお知らせ

＊レディース健診(乳がん、子宮がん検診)

健診日 1月21日(月) 1月30日(水)
2月13日(水) 2月22日(金)
3月 2日(土)

※平日の受付時間 13:00、14:00、14:30
土曜日の受付時間 9:00、9:30、10:00、10:30

検診料金	マンモグラフィ検査	2,200円	
	乳腺超音波検査	2,000円	
	子宮がん検診	3,000円	(子宮がん検診は2/13・22のみになります)
	骨粗しょう症検診	1,000円	

レディース健診のお申し込み・お問い合わせは
055-225-2800 月～金曜日(祝日を除く) AM 9:00～PM 5:00